

21 ゴミマップを利用した環境学習 —環びわ湖ゴミマップ構想—

○青木俊平・遠藤修一（滋賀大院・環境教育）

1. はじめに

滋賀県では、『びわ湖を美しくする運動』など、市民参加型の清掃活動が行われ、行事として定着している。現在の清掃活動はゴミを拾えば終わりというものになっていて、ゴミ拾い後のふりかえりとしての今後の対策などの検討はあまり行われていない。

本研究では、どこにどれくらいのゴミが落ちているかを地図上に示したゴミマップを利用した環境学習の試行実践を行い、そのゴミマップをあわせてびわ湖ゴミマップ作成の可能性として、「環びわ湖ゴミマップ構想」を提案する。また、身近な環境問題であるゴミ問題を扱うことによって、自分の行動の変化に結びつきやすく、プログラム汎用性も高いと考えられるため、環びわ湖ゴミマップ構想の評価を行った。

2. びわ湖ゴミマップ調査

事前調査はびわ湖岸を徒歩あるいは自転車を用いて回り、ゴミやゴミの啓発があるところの状況を記録し、写真を撮影した。2007年6月16日に予備調査として、南湖の調査を行い調査方法の検討を行った。びわ湖岸の本調査は2007年9月21日～9月22日に行い、調査結果をもとに暫定的なゴミマップ（図1）を作成した。

今回の調査でびわ湖岸では、北湖よりも南湖、西岸よりも東岸にゴミが多い傾向が見られた。啓発の看板が近くにあるにもかかわらずゴミが捨ててあるところ、清掃活動が行われていてゴミが無かったところなど、ゴミの量は場所によって差が見られた。

湖岸ではカンやペットボトル、湖面は水草が目立った。「水草はゴミといえるのだろうか」という疑問を抱いたが、ゴミの定義として「利用価値の無いもの」とあるため、現在の状況を考えるとゴミといえる。国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所の方が「夏季の水草は船の航行に支障をきたす可能性があるので、一番厄介なものである」とおっしゃっていたので、びわ湖の一番のゴミは水草であるとも言える。

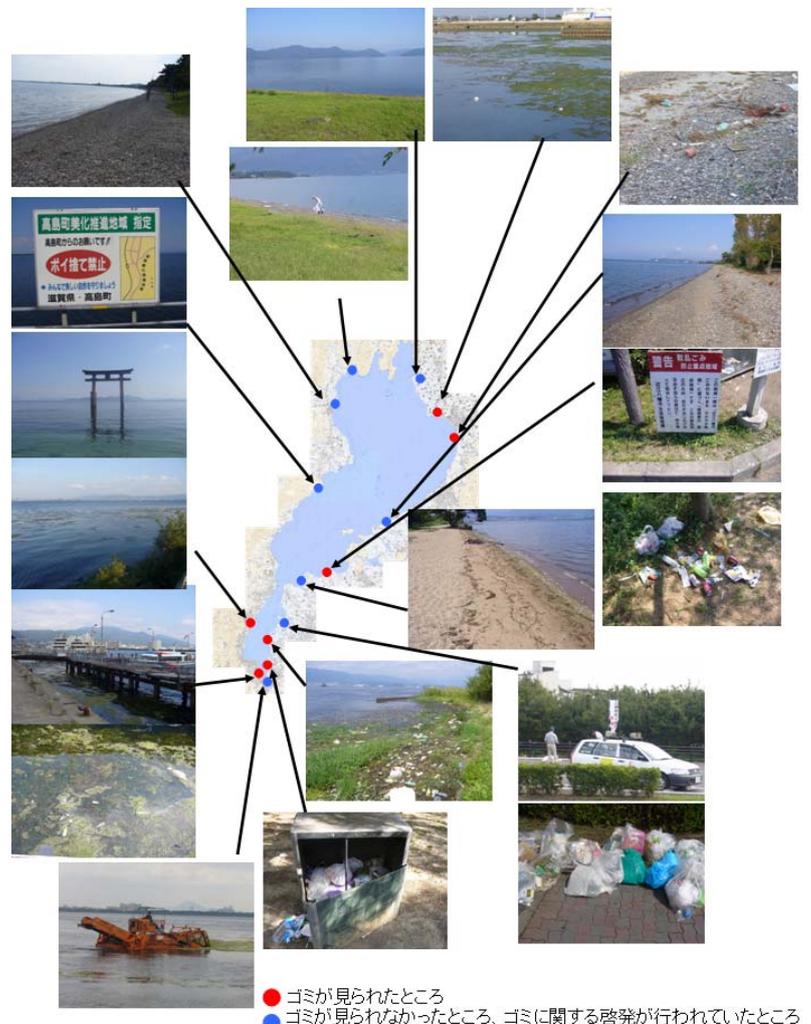


図1 びわ湖ゴミマップ

3. 環境学習の試行実践

今回の試行実践は天津市立唐崎中学校の1年生全員を対象として行った(表1参照)。

授業構成に関しては、まず始めに基礎的な学習として、ゴミの分別についての授業を行う(第1時)。次に、ゴミマップの作成の意義と効果を理解するための授業を行う(第2時)。その後、実際に屋外に出

て調査を行い、自分の目で情報を得られるような授業を行う(第3時)。そして最後に、まとめとして、学習で学んできたことを活かしての自分達にできること考え、また自分が調べたことをもとにゴミマップを作成するといった内容にした。以上の流れから、授業回数を計4時間とした。毎回の授業で自分の活動を振り返り次の活動に生かせるようにするため、プリントを使用した。

第4回の授業後に回収した環境学習全体を通した感想では「普段何気なく歩いている道を注意して見るようになった」「4つのRやポイ捨てをしないなどは自分でもやっていけることやからこれからはどんどんしていこうと思った」「ゴミの分別をちゃんとしようと思った」などの意見が見られ、授業後の行動を引き起こすきっかけを与えられたと思われる。

また、「ゴミ拾いをする場合はゴミマップを見てゴミが多いところを拾いたいです」という意見も見られ、ゴミマップの結果を今後の活動に反映させる意識を持たせるという効果があったと考えられる。

4. 考察

本研究においては1人でびわ湖ゴミマップ作成を行った。このゴミマップを公開すれば、啓発効果は見られるかもしれないが、環境問題に対して行動を引き起こすきっかけを与えることはできないだろう。そこで、滋賀県にある各中学校で区間を指定して、その作成したゴミマップをまとめることで、滋賀県全体のゴミマップ『環びわ湖ゴミマップ』の作成が実現できると考えられる。今後、本研究で行った試行実践内容の改善を行い、ゴミマップ作成のモデル校選定を行って試行事例を増やし、更なる改善を行ったうえで、環びわ湖ゴミマップ作成に向けての行動を行うことが必要である。

本研究プログラムの汎用性を考えると、ゴミマップ作成は既存のゴミ拾いを活用すれば簡単に実行できると考えられる。既存のゴミ拾い活動を発展して、ただゴミを拾うだけでなくゴミマップ作成を行い成果を出すことにより、ゴミ問題に対する意識が芽生え、ただゴミを拾うだけの行動が環境学習に利用できるのではないだろうか。現場教諭が授業を行い、学校の1行事になることを期待したいが、現場教諭の多忙さを考慮すると授業準備等には課題がある。

そのためには、時間的余裕がある学生が出張授業などで指導を行う、地域の清掃活動と連携してゴミマップ作成をするなどの環境活動の輪を広げていくことも重要である。

表1 試行実践の概要

実施日	2007年10月29日～11月2日
実施時間	20時間
学級	天津市立唐崎中学校1年1組～5組
生徒数	158人
場所	第1理科室